

### 「道の駅」スタンプラリー（その3）

2010年3月、2011年9月に続いて3度目のサロン執筆が回ってきて、今回も「道の駅」スタンプラリーについて書かせていただきます。

続けていた道の駅スタンプラリーは2012年の関東を最後に12年連続完走で途切れました。内訳は北海道9回、東北2回、関東1回に参加していました。

関東でスタンプラリーの完走に参加しなくなった、心が折れた理由としては、行楽時期に土地勘のない地域でマニュアル車を運転して渋滞にはまる辛さや、舗装されているがセンターラインの引かれていない狭い峠道の怖さ、駅間が近く車の乗り降りを繰り返す煩わしさ、道の駅が混雑し駐車スペースを探す大変さ、など北海道とは違うドライブ環境に馴染めませんでした。

しかし、元号も令和になり、気持ちを新たに5年ぶりに再びスタンプラリーに挑戦を始めました。今回の挑戦では無理をせず2年間かけてゆっくり全道を一周しようと考えており、11月5日時点では、全道125駅のうち60駅に立ち寄っています。

ここまで回った感想ですが、北海道のスタンプラリーは8年ぶりになりその間に12駅が増え、さらに回り応えのあるスタンプラリーになっているのと感じます。また、道の駅が地域の観光情報の発信基地となり人が集まり地域の特産品が集まり地域づくりの拠点となっているとも感じました。私がスタンプラリーを始めた当時に比べ道の駅は50駅以上増え、高規格幹線道路のネットワークも着実に充実してきております。道の駅のスタンプラリーの楽しみ方もこれらの変化に合わせて徐々に変わっていくものと思います。

これからの時期は日没が早く他車や歩行者が見えづらい時間帯の走行も増えますし、気象状況、路面状況は悪くなっていきますので、行程に余裕をもって安全運転に努め、北海道でのドライブ観光をますます楽しみたく思います。

（寒地地盤チーム上席研究員 島山 乃）

\* \* \* \*

表紙左上記号 ISSN 2432-2652の説明

国際的なコード番号であるISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号)は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館ISSN日本センターから付与されたものです。